

通信

NO. 104
2021年9月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目
33番11-702号
☎092-409-4177

スタ
コラ

黙ってはいられない

熊「ご隠居、元気ですかい。」

ご隠居「どうしたんだい。」

熊「いやあ、

コロナ、
一体どう
なってる
んです。」

ご隠居「緊急

事態宣言が出っぱなしで、
新規感染者が1日2万人を
超え、重症者が2千人を超
えている。」

熊「でも、東京の新規感染者数
は減っているんですかね。」

ご隠居「それは、濃厚接触者ま
で検査ができなくて、その
ために感染率が20%を超
えている。」

熊「へえー、東京の全人口で見
ると、えーと…。」

ご隠居「東京都の人口が140
0万人を超えているから、
280万人以上が感染して
いることになる。」

熊「へー、すごい人数になるん
ですねえ。」

ご隠居「発表がいい加減と言う
専門家もいるし、東京都医
師会長は、“感染者の急増に
医療体制が追いつかない”

“医療崩壊の状況が生まれ
ている”とも言っている。」

熊「でも、“ピークを越えて”明
るさが見えてきたといっ
ている人がいる…。」

ご隠居「馬鹿をいっちゃいけな
い。」

熊「いや

いや、

ご隠

居に

怒ら

れた

が、

あつしか言っているわいし
ゃなく首相が言っている。」

ご隠居「政府は、“安全安心”を
繰り返す、実際には、感染
爆発ともいえる状況で、重
症者も2000人を超えて
増え続けている。入院でき
ない自宅療養者が10万人
を超え、自宅で亡くなる方
が相次いでいる。」

熊「すごいことになっています
ねえ。」

ご隠居「政府は、感染を抑える
ために居酒屋に“酒を提供
するな”。“人流を押さえる
必要がある。”と国民には自
粛を求めながら、オリンピ
ックをやる。さらに、パラ
リンピックは無観客開催と
いいながら、児童生徒を動
員している。」

熊「そう、その観戦が感染を広
げると心配している親御さ

んがいる。」

ご隠居「しかも、“災害時だから
自分の身は自分で守れ”と
“自己責任”論を振りかざ
し、押し付けてきている。」

熊「そうですね。首相の会見は
“他人ごと”で心が感じら
れない。“自分の責任”をい
うなら首相こそ責任を取る
べきだ。」

ご隠居「そうだ。熊さんよく言
った。それが、多くの国民
の気持ちだ。内閣の支持率
が20%台まで下がってい
ることに表われている。」

熊「ご隠居に褒められた。そう
いえば、国会も開かれてい
ないですね。」

ご隠居「そうだ。こんな大事な
時に、国会も開かず、保身
のために自民党の総裁選を
やるという。」

熊「そうですね。ひどい話です
よね。」

ご隠居「コロナ感染症を終息さ
せるためには、PCR検査
の徹底など科学的な手法が
必要だが、それもやらない。
今の政権は、専門家の提言
にも耳を貸さず、国民の意
見など眼中にない。」

熊「それが、大きな問題ですね」

ご隠居「10月には総選挙が実
施される。主権者である国
民が、国の進路を決定でき
る絶好の機会だ。しっかり
した目で選択を誤らないよ
うにしたいものだ。」

熊「そうですね。」





映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

孤狼の血 LEVEL2



監督：白石和彌
出演：松坂桃李
鈴木亮平
村上虹郎
西野七瀬
中村獅童
2021年 東映

2018年上映の「孤狼の血」の続編。

闘うヤツしか生きられない裏社会、警察、マスコミ、誰もが裏切る、潰しあい。

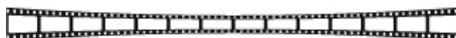
3年前に暴力組織の抗争に巻き込まれ殺害されたマル暴の刑事・大上の後を継ぎ、広島の裏社会を治める刑事・日岡（松坂桃李）。

しかし、刑務所から出所した圧倒的な悪魔=上林（鈴木亮平）の登場によって、その危うい秩序が崩れていき、日岡は絶体絶命の窮地に追い込まれていく…。

強烈な印象だったのは、松坂桃李と鈴木亮平の「役」に掛ける熱量とド迫力の演技。圧倒さ

れました。

果たして結末は如何に…。



くまさんの
コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

“憲法と国民無視” の当然の帰結 政権投げ出しの“無責任”

一面スタコラ「黙ってはいられない」は、8月30日にホームページにアップした記事だが、それから4日目の9月3日、菅首相が、突然、自民党の総裁選挙への不出馬を表明した。

そもそも、この自民党の総裁選は、菅首相が、“新型コロナ感染症”対策の失敗による国民的な批判の広がりについて、自らの政権の延命のために画策してきたものだ。

しかし、その画策も失敗しての“政権投げ出し”は、“憲法と国民を無視”し、「科学的手法が欠如した反知性」と批判されてきた菅首相の本質の当然の帰結ともいえるものだ。

菅首相の1年は、就任当時の「学会議会員候補6名の任命拒否」に始まり、コロナ感染症

対策においても、専門家の提言を無視し、GoToやオリ、パラの強行によって感染拡大を招いてきた。

さらに、菅首相は、国民の声に耳を貸さず、専門家の提言をも無視しつづけ、野党が要求しても国会を開かず、憲法違反の姿勢を続けてきた。

菅首相が延命に失敗しての“無責任な政権投げ出し”は、主権者である国民の目にその本質がさらされた結果であり、いまさらの「コロナ対策への専任」を口にしても、むなしく響くだけで、なんの説得力もない。



編集後記

新型コロナ感染症が終息しない中で、本当に感染していないか、肺炎は大丈夫かと「パルスオキシメーター」を購入した。



実際にはかってみると数値が97から95の間を行き来する。こんなもんなのかとは思いますが、脈拍まで92と表示されると、余計に不安が広がる。

全国にこんな気分の高齢者がたくさんいるように思う。

Relationship & Partnership
ビジネス総研

<https://www.b-souken.com>